



“K” Line Group
環境アワード2015



“K” Line Group 環境アワード 2015 の創設について

当社は本年3月に新中期経営計画『**K** Value for our Next Century』と『“K” Line 環境ビジョン 2050 - 青い海を明日へつなぐ -』を発表しました。このビジョンは川崎汽船グループが海運業を母体とする総合物流企業としての使命を果たすため、2050年に向けた環境保全に取り組むための「羅針盤」とも言うべき長期指針です。この長期指針のゴールとして、重大事故ゼロの維持はもちろんですが、CO₂排出量の半減や大気汚染物質のゼロエミッションなど意欲的な内容となっています。

このビジョンで策定されたゴールに向けて川崎汽船グループで働くすべての役職員、乗組員が環境保全に取り組み、持続可能な事業活動に資するため、『“K” Line Group 環境アワード』を創設しました。

地球環境の問題は、国、自治体、企業が一丸となって取り組むことはもちろんですが、今や私たち一人ひとりが考え、行動を起すことが求められているのではないのでしょうか。このアワードは、それらの優れた取り組みを採り上げることにより、川崎汽船グループで共有し、環境保全の輪を広げていこうとするものです。

第1回となりました『“K” Line Group 環境アワード 2015』に応募された活動を本誌でご紹介致します。2016年の募集では更に多くの皆様がこの取り組みに参加されることを願っています。

川崎汽船株式会社
代表取締役社長

村上英三



“K” Line Group 環境アワード 2015 受賞者発表

募集と選考

環境アワード初年度の今年は環境ビジョン発表スケジュールとの兼ね合いもあり、応募期間は4月6日～5月31日と非常に短いものでしたが、21件のご応募をいただきました。

(期間が短すぎてご応募し損ねた方は是非来年応募してください)

6月2日、審査委員会が開催され、独創性、困難性、継続性、公共性等の視点から総合的な評価が行われました。各提案共に甲乙つけがたく、業務効率化、省エネ、環境保全等、身近なことに取り組む皆さんの真摯な姿勢に審査員一同感嘆の声をあげていました。厳正な審査の結果、優秀賞1件、特別賞5件が決定されました。

表彰式・祝賀会

6月15日、川崎汽船本社にて、“K” Line Group 環境アワード 2015 表彰式が開催されました。

表彰式には海外から駆けつけて下さった新井大介氏 (Director, “K” Line (Nederland) B.V.)、三好健治氏 (Managing Director, Bangkok Cold Storage) をはじめ、日本各地から受賞者の皆様にご出席いただきました。

村上社長から、環境保全にかける真摯な努力と取り組み、その成果に対して感謝と労いの言葉があり、各受賞者に表彰状、記念品が授与されました。



(写真左から、新井大介氏、村上社長)



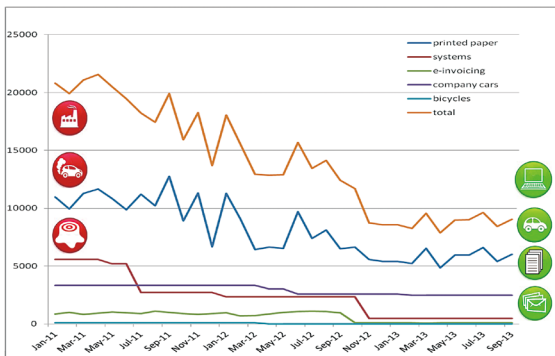
引き続いて行われた祝賀会では、スライドを上映しながら、受賞提案について活動を企画するに至った動機や実施上の工夫などについて説明がありました。特別賞の受賞者から「必ずや来年は優秀賞を獲得する覚悟です」との決意表明があるなど、和やかな雰囲気の中で盛況のうちに祝賀会が終了しました。



Company Sustainability Report

“K”Line (Nederland) B.V.

ワーキンググループが中心となり進めて来た環境保全の取り組みを当社の社会・環境レポートを参考にわかりやすく取りまとめSustainability Reportとして自主的に作成・公表されました。報告されている諸活動もオフィス内の機器や社有車、個人所有車等の省エネ化・TV会議による出張減少・再生紙トイレトペーパー使用、更に省エネ型ビルへの移転検討等、多岐に亘りきめ細やかに報告されています。また、各活動をCO₂換算で評価し、見やすいグラフにまとめ、2020年へ向けての目標も設定されています。



少人数のオフィスで有志が継続的に多大なる労力をかけ活動された点とその環境意識の高さ、当社及びグループ企業への影響の度合いの大きさという点から、本アワードの優秀賞を獲得されました。



この度の“K” Line (Nederland) BV社による「環境アワード」優秀賞受賞を心から嬉しく思います。受賞対象となった「Company Sustainability Report」は環境保全に向けた彼らの日々の取り組みをきめ細かく紹介したもので、先ずはオランダでの日常業務レベルでの取り組みです。彼らは今後それを事業レベルへ高めることをも視野に入れております。私もまたこうした取り組みを欧州全域にぜひ展開してまいりたいと考えています。



新井 大介

Director “K” Line (Nederland) B.V.
(川崎汽船 執行役員、Managing Director “K” Line (Europe) Limited)

“K” Lineグループの社会貢献と環境に関する方針について、私たちは、オランダのロッテルダム港及びベネルクス～ライン/ルール回廊地帯における“K” Lineの事業活動を担う代理店レベルでの責任として、数年来この方針の達成に努めてきました。私たちは新たに結果の定量化や改善の深度化、また新たな環境保全の構想も検討を始めたところです。

2014年、“K” Line (Nederland) における全部署の代表からワーキンググループを立ち上げ環境委員会として活動を開始しました。この環境委員会は、環境プロジェクトの発展、新たな取り組みへの探求、さらに重要なことに“K” Line (Nederland) 全社員の環境に対する自覚を促すことを使命としています。

ワーキンググループは、2014年の第1四半期に最初の総合的な環境レポートを発行し、その取り組みは現在も継続中です。今回のアワード受賞は“K” Line (Nederland) のスタッフ全員が努力した結果であり、大変誇りに思っています。私たちのカーボンフットプリント(*)の削減強化への取り組みは今後も継続してまいります。



Fer P. Penders

Managing Director
“K” Line (Nederland) B.V.

(*) 商品(サービス)の一生(原料調達から廃棄・リサイクル)で排出されるCO₂量を商品に表示する仕組みのことで、国際的には個人や組織の排出量や環境負荷を指し示す言葉としても利用されています。



White Sand Beach-Lembbeh Island-Beach cleaning

LNG船 Tangguh Palung(*)

本船が荷役開始を沖で待つため停泊中にインドネシア レンベ島で本船乗組員によって自発的に行われた海岸清掃活動。今回、唯一本船からの応募であり、限られた貴重な休憩時間を利用しての海岸清掃活動という、その独創性と地域貢献度が評価を得ました。



(*)ケイライン シップマネージメント株式会社 (KLSM) 管理船舶

我々の環境保全活動が“K” Line Group 環境アワードを受賞したことは、LNG 船 Tangguh Palung の乗組員として言葉にできないほどの名誉であり、私にとって心から嬉しいことです。この取り組みを行うに当たっては、多忙な本船スケジュールの合間に環境保全活動の時間をどうつくるか、乗組員及び KLSM 経営陣の利他的な助力、この計画と“K” Line によって認められたゴールをどう合わせるかなど克服すべき困難な点は、いくつかありました。

このアワード受賞のために助力してくれた全ての方々へ心から感謝致します。また私たちは、今後も引き続きこの環境保全活動を行うとともに、私たちの後にこの美しいレンベ島の浜に来る人々の為、私たち自身の為にこの浜をよりクリーンにしていくことを約束致します。



Capt. Srdjan Tolja
Master of Tangguh Palung



CYターミナル・倉庫・事務所周辺における地域活動

日東物流株式会社

お昼休みや始業前の30分～1時間程度を利用して、協力会社と連携をとって実施している地域清掃活動。実施場所は本社周辺ばかりではなく、管轄CY(コンテナ)ターミナル及び地方事務所にまで展開され、累計48回・延べ参加人数は、600名に上ります。その継続性と地域貢献度が高く評価されました。



“K” Line Group 環境アワード 2015 特別賞をいただき誠にありがとうございます。
私たち日東物流は、お客様や地域社会から信頼される企業を目指して以前より環境保全活動に取り組んでまいりました。その中で港を中心に働く私たちが海洋汚染防止活動の一環として始めたのが今回受賞した「CYターミナル・倉庫・事務所周辺における地域清掃活動」です。

有志での参加呼びかけで少人数から始まったこの活動も、協力会社からの参加協力をいただくようになり、今では港湾地域だけでなく人通りの多いビジネス街でも実施する活動に成長しました。会議の後や祭りの翌日に実施するなど地域ごとの自主的な工夫も加わって、多くの役職員が無理なく継続的に参加でき自然に環境保全への意識が高められるこの活動を、日東物流はこれからも大切に末永く継続したいと思っております。



日東物流株式会社
品質・安全管理室長
上野 雅弘



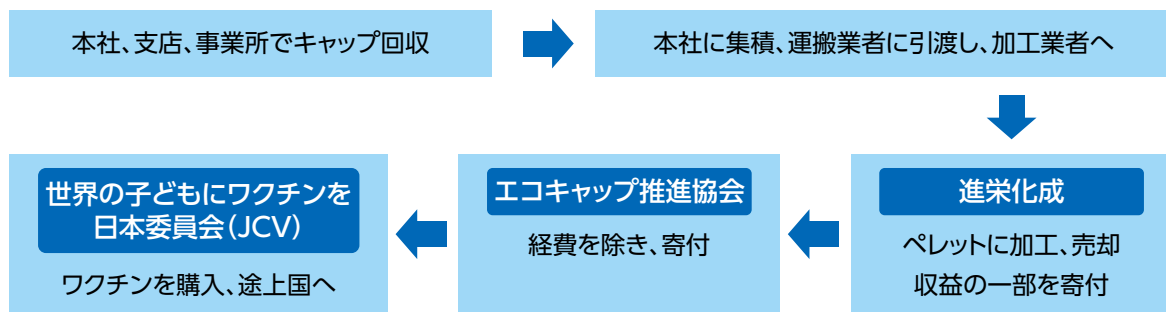
エコキャップ回収リサイクル運動

株式会社ダイトコーポレーション

ペットボトルのキャップを回収し資源リサイクルに貢献すると共に、回収されたキャップを収益に換え、その収益により感染症ワクチンを途上国に届ける団体に寄付する活動。

2009年から実施している活動であり、支店が始めた活動を全社に展開、定着が図られています。本社・各支店・事務所が一丸となってコツコツと実施し、これを社会貢献に結び付けられており、その継続性と公益性が高く評価されました。

活動の流れ



この度、“K” Line Group 環境アワード 2015において特別賞をいただき、誠にありがとうございます。エコキャップ回収リサイクル運動は当社のQC活動をきっかけに全社で取り組んでいるエコ活動です。「小さな事からコツコツと」をモットーとする活動が評価されたことで、社員のモチベーションも上がりました。今後とも環境保全のために努めていきたいと思っております。

株式会社ダイトコーポレーション
代表取締役社長 松川 一裕



株式会社ダイトコーポレーションの取り組みを参考に川崎汽船でも2015年9月から「キャップリサイクル運動」を開始致しました。収集したペットボトルキャップは港区リサイクル事業協同組合を通じてリサイクルされ、その収益はユニセフに寄付されています。

(川崎汽船・総務グループCSR推進室)



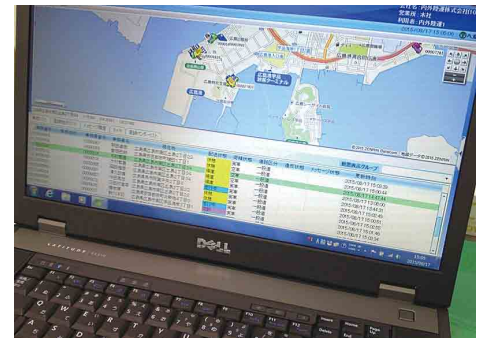


デジタコを活用したエコドライブの推進

内外陸運株式会社

オンライン型デジタコ(デジタルタコグラフ)をトラック車両に導入し、無駄なアイドリング・エンジン回転数・速度・急制動などをリアルタイムに事務所にて把握、エコかつ安全な運転の指導を徹底することを通じ、燃費改善の効果をあげている。

グリーン経営認証による「対前年1%改善」という燃費目標を設定し、結果を評価されています。この改善への取り組みが高く評価されました。



ドライバーに対する意識付けとして、エコドライブを行うことによって燃費が向上し、CO₂排出量が削減されるなど環境に良いという事だけではなく、速度を控えることが安全運転にもつながるという事は以前より周知徹底してきました。今後はデジタコの運転記録を活用した、よりリアルでタイムリーな指導とさらなる省燃費に取り組み、ひいては「エコドライブの内外陸運」というブランドの確立を目指していきます。

内外陸運株式会社
代表取締役社長 原田 洋二



BANGKOK COLD STORAGE 第二倉庫建設に当たっての省エネ化の実現

K Line (Thailand) Ltd. / Bangkok Cold Storage Service, Ltd.

新冷蔵庫建設に当たり、目標値として既存冷蔵庫との比較でエネルギー消費量を半減させる事とし、防熱パネル、床下断熱材、省エネ型で自然冷媒使用の冷蔵機の採用、太陽光発電パネルの設置など対策を実施し、初年度の消費電力を既存倉庫との比較で約80%削減した。再生可能エネルギー使用や先進的な技術を導入して環境負荷の最小化を目指していることが評価されました。



BCS 第二倉庫外観

冷蔵倉庫を発泡スチロールの箱であると想像してみてください。効率の悪い冷蔵倉庫というのはこの箱に細かい隙間や穴がたくさん開いている状態のものです。弊社新倉庫ではこの巨大な構造物の隙間や穴をどれだけ最小限に出来るかという事を念頭に可能な限り緻密に作り上げました。この気密性の高い躯体があって、初めて省エネの両輪である高効率の冷却システムが生きて来ます。今後引き続き実作業における省エネを推進し、年間データを取得する事で更に改善を行って行ければと思います。

三好 健治 Managing Director
Bangkok Cold Storage Service, Ltd.





今回、エントリーされた全提案をご紹介します。(エントリー順)

会社・部署、船名	タイトル/内容
"K" Line America, Inc.	The KAM RIC Office Paper/Plastic/Aluminum Recycling Program 事務所で使用された紙、プラスチック、アルミのリサイクル活動
川崎汽船株式会社 町田研修所	研修所敷地周りの歩道・道路の清掃活動 研修所敷地周りの継続的な清掃活動
日東物流株式会社	須磨ビーチクリーニングへの企業参加 阪神間唯一の自然海岸 須磨海岸における伝統あるクリーン作戦への参加
日東物流株式会社	エコテナーの導入や空調管理の徹底によるエネルギー等の削減 全社一丸で取り組んでいる森林資源保護・CO ₂ 削減の為、コピー用紙やエネルギー消費量の削減活動。
日東物流株式会社	事故撲滅運動 ISOの環境目標に事故件数低減の数値目標を設定し、会社目標として取り組んでいる事故撲滅活動。
"K" Line Ship Management (Singapore) Pte Ltd	Visit to Senoko Waste-to-Energy Plant 環境負荷を最大限低減した最新省エネプラントへの研修見学旅行
川崎近海汽船株式会社 船舶部 ほくれん丸、第二ほくれん丸、シルバークィーン、シルバープリンセス	廃油リサイクル回収 焼却炉運転による廃油のリサイクル業を通じて、CO ₂ の排出量削減及びパイロット・バーナー用A重油の削減活動。
株式会社シーゲートコーポレーション 広島本社 曳船事業部	グリーン経営の推進 環境に関する問題意識から環境負荷を低減するグリーン経営の推進活動。
株式会社シーゲートコーポレーション	広島土砂災害ボランティア活動 広島県広島市安佐南区八木、緑井での被災者ボランティア活動。
株式会社シーゲートコーポレーション 広島本社 港湾事業部	グリーン経営 自社の環境方針に基づき、グリーン経営の実施概要の把握。
株式会社シーゲートコーポレーション 鉄鋼事業部坂鋼材センター	グリーン経営活動による環境保全活動 環境保全活動を実施する為、公益法人交通エコロジーモビリティ財団が認証するグリーン経営の推進活動。
株式会社シーゲートコーポレーション 門司支店 門司物流センター	グリーン経営 温室効果ガスの排出の抑制を目的として、電力と燃料の消費の目標値を定めて抑制する活動。
住吉運輸産業株式会社	住吉エコ・チャレンジ デジタコ(デジタルタコグラフ)とエコ車両の利用による環境経営の実現
川崎汽船株式会社 コンテナ船部門	世界各港での環境インセンティブプログラムへの積極参加 世界各地の港湾で行われている環境保全プログラムへの積極的参加による大気汚染防止と環境インセンティブによる経費削減の取り組み
"K" Line (Korea) Ltd.	Cleaning up garbage and filth at Ui-dong valley, Mt. Bukhan "K" Line (Korea) Ltd. メンバーとその家族で行った景勝地の清掃活動

■お問い合わせ
環境推進グループ
〒100-8540 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング
電話：03-3595-6729 ファックス：03-3595-5355

